

# トキと共生する里地づくり取組地域

石川県・七尾市・輪島市・珠洲市・羽咋市・志賀町・宝達志水町・中能登町・穴水町・能登町

## 取組地域の概要

### 【取組地域名】

石川県、七尾市、輪島市、珠洲市、羽咋市、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

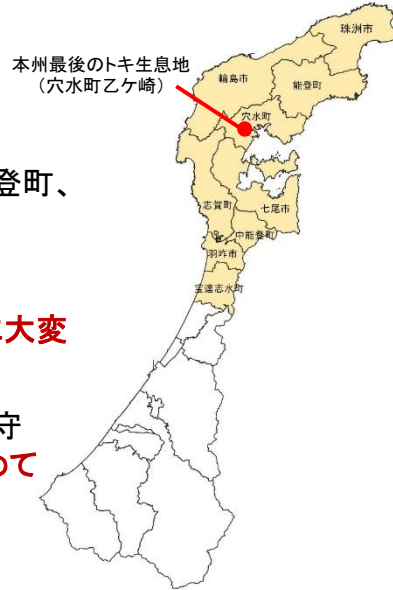
### 【取組地域の選定の考え方】

- ・本州最後のトキの生息地で、トキに大変ゆかりが深い地域
- ・伝統的な農業・農法、生物多様性が守られている地域として、わが国で初めて世界農業遺産に認定

### 【自然環境の概況】

- ・能登半島は農業が盛んな地域であり、特に水田耕作が多い。トキの採餌環境となる水田について、取組範囲南側に比較的大規模な水田地帯が集中している。
- ・水田には、ドジョウ、タニシ類など、トキの餌となる多くの小型動物が生息する。また、ゲンゴロウ類など希少な生物も数多く生息する。
- ・能登半島全域のほとんどが森林に覆われており、水田と入り組んだ環境を創出。トキの営巣環境となるアカマツ群落も散在している。

春蘭の里  
(能登町)



## 取組方針

- ・本県とゆかりが深いトキを「シンボル」とし、トキが舞う里山里海を未来の世代へ継承することを目的に、令和4年5月に、県及び能登の市町、JA、森林組合等からなる能登地域トキ放鳥受入推進協議会を設立
- ・関係者が一丸となって、トキと共生する里地づくりの取組を推進し、トキが羽ばたく石川を目指した取組を進める



## 目指す地域の姿

### □ 生物多様性への配慮が社会に浸透した「いしかわ」

- ・多くの県民が里山里海の保全活動や体験学習に参加し、生物多様性保全の重要性と生態系サービスの持続可能な利用について理解が浸透



県民に生物多様性に配慮したライフスタイルが定着

### □ 生物多様性が確保され、野生のトキが舞う「いしかわ」

- ・耕作放棄地や手入れ不足森林の適切な利用が進む一方、環境配慮型農業の手法が浸透



トキが水田や川辺でエサをとり、集落の裏山に巣をかけるなど、生きものでにぎわう里山が広がる

### □ 生物多様性保全の取組を世界に発信する「いしかわ」

- ・創造型地場産業やエコツーリズム等の生物多様性保全型観光を核とする本県の地域振興が軌道に乗っている



こうした取組が世界に向けて発信され、国際的な生物多様性保全のモデルとして注目されている